

HIROSAKI
UNIVERSITY弘前大学人文学部
文化財論講座 公開講演会

さまよい始めた 世界遺産

午後2時～4時
2015年1月10日(土)

弘前大学創立50周年記念会館 2階「岩木ホール」

入場無料

事前申込み等も不要です。

さまざまな場で注目される「世界遺産」、それは誰がどうやって決めているのか？ 認定されることは日本の文化財行政や日本人にとってどういう意味を持つのか？ そして、認定を待つ日本の推薦候補にはどんなハードルが待っているのか？ 世界遺産認定に関わる委員をつとめてこられた、岡田先生による世界遺産認定をめぐるリアルで貴重なお話をうかがいます。多くの市民や文化財行政担当者の方々のご参加をお待ちしています。

演題

さまよい始めた世界遺産
— 暫定リストの行方 —

講師紹介

岡田 保良氏

(おかだ やすよし)

(国士館大学イラク古代文化研究所教授) 工学博士。京都大学助手、国士館大学講師・助教授を経て、1995年より現職。専門は西アジア建築史。世界各地の文化遺産の調査研究、保護活動に従事。ICOMOS(国際記念物遺跡会議)前執行委員(2005-2011年)、文化庁世界文化遺産特別委員会委員、佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会委員。「古代メソポタミアの宗教建築」2000年「震災後のアルゲ・バム遺跡 — 修復への道程」2005年など著作論文多数。



■主催／弘前大学人文学部文化財論講座

■後援／弘前市教育委員会

お問い合わせ先 弘前大学人文学部・西洋考古学研究室
TEL.0172-39-3243

